

2024年7月17日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・氏名：関口 昭茂
・年齢：
・コールサイン（局免許保有者の場合）： J A 1 Q G S
・連絡先 住所：
メール：

2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）： Bを選択
A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア

3. アイデア名：
《 障がいのある人もない人も世界に広がる友の絆へ！ 窓を開こうアマチュア無線 》

4. アイデアの概要（200字以内）：
障がいのある人もない人も自宅から世界に向け垣根無く誰とでも自由に交流できるアマチュア無線は、特に日常の行動に制限を受ける障がいを持つ人にとってはアマチュア無線が生活環境を大きく改善できる魅力があり、そうした沢山の仲間をも増やすことに皆で力を注ぎたい。
厚労省では、日本の障がい者の割合が人口の約10%を占め、障がいのある人もない人も互いに支え合い、生き生きと暮らしていける社会を目指すとしており、この政策にも沿い社会貢献の一つとしても寄与したい。

5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：
生活の中で主に移動に制限の有る身体障がい者を対象に、まずはアマチュア無線の免許取得への取り組みについて、以下のように推進していきたいと考えます。また三年後には実施の結果を踏まえ、継続に向けた取り組みの有りようを見直してまいります。

① JARLの組織内に委員会の一つとして「障がい者のためのアマチュア無線への誘い推進委員会(仮称)」を数人の構成メンバーで設立し、そこで具体的な計画案を検討・立案していきたい。
目指す具体的な内容としては、障がい者の多くに対し興味を抱いてもらう機会を創りだし、その結果として従事者免許への取得に繋げていきたい。

そして次に大切なのは、開局に至るまでの一貫した協力サポート体制を敷きこれを実現していくという構想です。

- ② 上記を踏まえこの推進を JARL が一つの事業の柱として取り上げ、一方実務を担うのは各地方本部の各県支部がその役割を果たすこととします。そして各支部では地元で候補となりえる障がい者に対し、計画の実現に向けフォロー願うこととしたい。
- またアプローチし得る障がい者の候補選出にあたっては、その案として以下が想起されます。
- 地元では、公立肢体不自由特別支援学校(中学・高等)や社会福祉協議会などの協力を得て候補となる障がい者に接触を試みたり、
 - また全国障がい者アマチュア無線のサークルである JASC に相談してアマチュア無線局を既に開局している適当な障がいの方を紹介いただき、推進の活動に何等か意見や協力を求めることも可能かもしれません。
 - 一方、障がいを持つアスリートの選手をとりあげ、アマチュア無線への興味を抱いてもらうことで従事者免許の取得推進を図ることも考えられます。
- 将来的には、障がい者のアマチュア無線による生活環境の改善される姿を、社会広報に役立てていただけるかもしれません。
- ③ 公益財団法人日本パラスポーツ協会等の協力を得て、障がいを持つ多くのオリンピック強化選手の中でアマチュア無線に興味を持ち、ゆとりある生活環境向上にアマチュア無線を是非取り入れたいとの希望があれば、その実現にもサポートしていきたいと考えます。そうした可能性ももちろんあるはずです。
- ④ 尚、上述した事例や、障がいを持つ方々がアマチュア無線を取り入れたことで人生の生活環境がより充実して過ごせることになったなど、そうした姿の実績がある程度積み上がれば、NHK 教育番組のハートネット TV にて障がい者番組の企画の中に取り上げて貰うことも考えたいと思います。そこにはアマチュア無線が社会に貢献していることを、世の中に一層知らしめていきたいという思いの背景があるからです。
- ⑤ こうした障がい者とアマチュア無線という私達の取り組みが国内に普及していけば、将来は JARL による音頭取り主導の立場で、欧米亜各国のアマチュア無線連盟に対しても普及の輪を世界へと是非拡げていきたいと考えます。

以上留々申し上げましたが、障がい者とアマチュア無線という取り組みは、アマチュア無線の振興という命題に沿ったこれからのアマチュア無線振興の新しい分野の一つだとも言えます。またこうした取り組みは、政府厚生労働省が推進する「障がいのある人もない人も互いに支え合い、地域で生き生きと明るく暮らしていける社会を目指すというノーマリゼーション」の理念の下で、障がい者とアマチュア無線という取り組みの姿がマッチし社会貢献にも通じるもの

があり、誇りを持ちそしてハム仲間が増える楽しみをもってアマチュア無線の振興を推進していきたいと考えます。

6. 参考情報（参考資料、Web 情報等）

- 厚生労働省 障がいあるなしのノーマリゼーションの理念
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/shougaihoken/idea01/index.html>
- 肢体不自由特別支援学校 都内 16 校中の 2 校を事例として掲げます。
東京都立 永福学園(小学部、中学部、高等部) (在東京都杉並区)
東京都立 光明学園(小学部、中学部、高等部) (在東京都世谷区)
- JASC 全国障がい者アマチュア無線のサークル
<https://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/prdl/jsrd/norma/n410/n410019>.
- 公益財団法人 日本パラスポーツ協会
日本パラリンピック委員会
- 社会福祉法人 太陽の家
<http://www.taiyonoie.or.jp/>

以上